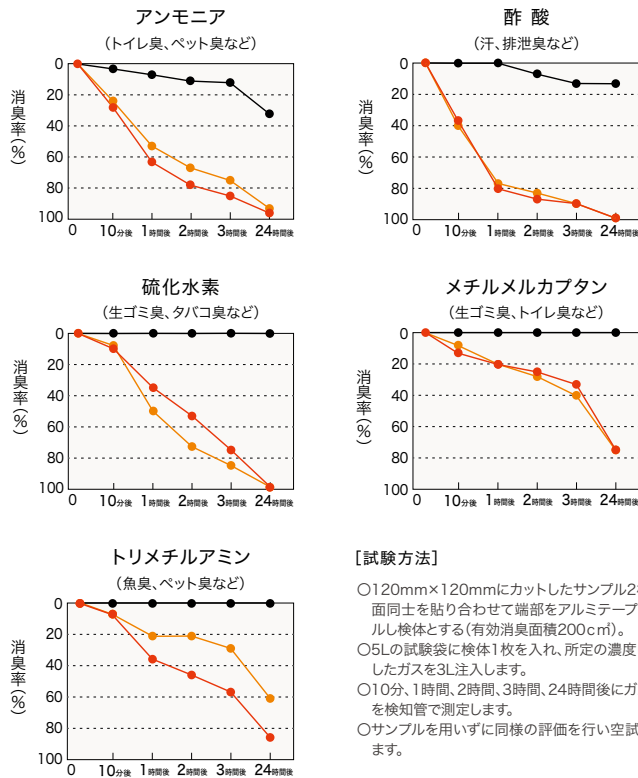


機能性試験データ

消臭試験

わんにゃん消臭フロア、わんにゃん消臭フロア[ハード]



【試験方法】

○120mm×120mmにカットしたサンプル2枚の裏面同士を貼り合わせて端部をアルミテープでシールし検体とする(有効消臭面積200cm²)。○5Lの試験袋に検体1枚を入れ、所定の濃度に調整したガスを3L注入します。○10分、1時間、2時間、3時間、24時間後にガス濃度を検知管で測定します。○サンプルを用いずに同様の評価を行い空試験とします。

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。品番により数値は異なります。

すべり性試験

わんにゃん消臭フロア、わんにゃん消臭フロア[ハード]、フロテックスシート すべり性試験(ペット)

床材	C.S.R・D'
わんにゃん消臭フロア	0.432
わんにゃん消臭フロア[ハード]	0.417
フロテックスシート	0.825
住宅用クッションフロア	0.354
一般フローリング	0.214

※上記の値は測定値であり保証値ではありません。
C.S.R・D'の値が大きいほど、すべりにくいことを表しています。

【試験方法】

○携帯型滑り試験機(ONO-PPSM)を使用して、犬の肉球のやわらかさを模擬した発泡ゴムシートに毛の影響を模擬した麻織物を滑り片にかぶせます。○滑り片に荷重5kgfを載せ、斜め上18°の方向に引っ張った時に得られる最大引張り荷重を測定します。○その値を載荷重量5kgfで除した値(C.S.R・D')を犬のすべり抵抗の評価指数としています。

オフフロア・リアル
すべり性試験(素足)

床材	C.S.R・B	
	水+ダスト	0.3%石鹼水
オフフロア・リアル(ダーリングストーン)	0.84	0.98
オフフロア・リアル(プラネタイル)	0.90	1.03
一般ビニル床シート	0.76	0.69

※上記の値は測定値であり保証値ではありません。
C.S.R・Bの値が大きいほど、すべりにくいことを表しています。

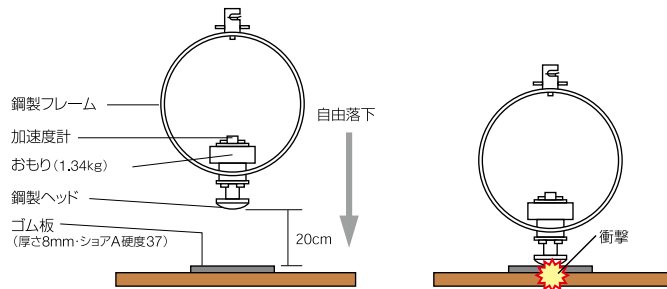
JIS A 1454すべり性試験に準拠し、水+ダストと0.3%石鹼水を用いて素足でのすべり性を想定した試験です。

衝撃吸収性試験

わんにゃん消臭フロア、わんにゃん消臭フロア[ハード]、フロテックスシート、遮音フロア L-45、衝撃吸収フロア3.5、オフフロア・リアル、コルクタイル

【試験方法】JIS A 6519 体育館用鋼製床下地構成材「床の硬さ試験」

人間の頭部をモデルとした質量3.85kgの装置を、試料(床材)の測定点に規定の高さ(20cm)から自由落下させ、衝突時の衝撃(G)を内蔵の加速度計で測定し、吸収力を判断します。



床材	G値
わんにゃん消臭フロア	124
わんにゃん消臭フロア[ハード]	118
フロテックスシート	111
遮音フロア L-45	101
衝撃吸収フロア 3.5	98
オフフロア・リアル	120
コルクタイル	111
住宅用クッションフロア	126
コンクリート	170

※上記の値は測定値であり保証値ではありません。

耐キズつき性試験

【試験方法】

○サンプルをスレート板に貼り付けた試験体を試験体取り付け台にセットする。
○試験体表面に所定の高さから落下片を落とし試験を行う。
○サンプルの傷付き程度・破損状況を観察する。



遮音性試験

床材	推定LL値
遮音フロア L-45	LL-45
住宅用クッションフロア	LL-70

※上記の値は測定値であり保証値ではありません。
推定LL値が小さいほど階下に響く音が緩和されます。

【試験方法】JIS A 1440-1

実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法
第1部：標準軽衝撃源による方法

試験体を階上の音源室の所定の位置に設置し、軽量床衝撃音発生器(タッピングマシン)で床を振盪したときに階下の床下で計測される床衝撃音のレベル(推定LL値)を測定しました。